

これい
御霊稲荷神社

本庄市児玉町保木野 314



稲荷神社は、塙保己一の幼少期に、目を治すために弟子の多間房と命名した福泉院の末社です。塙保己一は検校になった後、稲荷神社に刀を奉納しています。

御霊神社は、江戸時代には隣接の新里村（現 神川町）にあり、龍清寺と一体（神仏習合）だったが、明治の神仏分離令により分離させられ、稲荷神社に合殿されて、御霊稲荷神社となった。



下記の看板文字は別紙で説明

